

ひろば
大代

平成五 2.4

大代公民館

「二十一世紀を拓く

子供達の親として」



下飯谷 飯田 徹

去る一月十七日、恒例の大代町幼小中、公民館合同の家庭教育研修大会が開催されました。

私は昨年から二回めの参加でしたがこの研修会は今年で二十八回めを数えるという事で、大代町の大きな伝統を感じ、又、今後も引き続き大代町民の教育の場として残していかなければならないと思いました。

さて、当日の研修会の中で、特に「二十一世紀を拓く親と子」と題して行われた、松江高専名誉教授の加納勇一先生の講演は印象に残りました。自分なりに手帳にメモした中から抜粋してみます。

◎子供を育てるのは親である。

◎父親の役割は子供にとって人生の目標である。未来の指針やこの先どう

するかを与えてやる。細かい事は口出しするな。ぐちる親ほど子供の失望感強い。子供の前と社会に対しては、き然たる態度で。子供は自分の父が世界一だと思っている。

◎母親の役割は腹を痛めて自分が産んだという事実は女のすごい所、子供のプラス、マイナス両面を知っているが、プラス面だけで競おうとするな。真の性質を知り正しく伸ばしてやる事。子供に接する時間の長短よりも接する時の密度を大切にすること夫婦は仲良く、協力して子供を育てなければならぬ。

◎夫婦の哲学、二十代は愛情、三十代は努力、四十代は我慢、五十代はあきらめ、六十代ではのほのとしたものを感じる。

◎生活を見直し、生活の実態を見つめ子供に接しなければならぬ。等々先生の講演を聴きながら、忘れかけていた子供の頃の親に対する気持ち思い起こしました。その頃の気持ちを忘れずに、うちの息子達にも「親父が世界で一番だ」といつまでも思ってもらえるよう、努力の三十代を乗り切っ

ていこうと思いました。

成人式を迎えて

八反田 高村ひろみ



正直いって、成人の日の成人式というのは、世の中が決めたカレンダーのうちの一枚で、新調の背広や振り袖を着て、みんなが集まって祝ってもらう儀式くらいの感想しかありませんでした。

この日は、こういうものだと思ひ、みんながそうするからそうするものだというくらいに考えていたものです。しかし、一月四日成人式に出席して市長を始め、各界の方々のお話を伺っているうちに、本当に大人になったのだという実感が湧いてきました。

これからは、何でも責任を持って行動していかなければなりません。少し怖い気もしますが、反面身の引き締まる思いです。社会人としての責任と誇りを持ち、悔いのない人生を歩んでみたいと思います。

今後とも御助言をよろしくお願い致します。

二十歳を迎えて

本郷 窪田 敦

自分はこの度、成人式を終え大人の仲間入りをしたわけだが、実際二十歳を迎え現在の時点ではまだその実感は湧かない。

しかし、これからは自分は運よく地元就職出来、これから一生この大田市で生活していく上で、

まず一つ自分の頭に入れておきたい事は一つ一つの事に責任を持って行動していきたい。

二つめは、これまでこの町の行事など見てきて、これからは自分も積極的に参加し、いずれは自分達が中心となって町作りを行っていきたい。

三つめは、そういった行事に参加していく上で、周囲の皆さんに大変迷惑をかけると思うが、自分自身今までの様に甘えてばかりではなく、自分なりに一生懸命頑張っていきたいと思う。

最後にここまで育ててくれた両親には、今までさんざん苦勞ばかりかけてきたが、これからはその感謝の意を込めて親孝行していきたいと思う。

公民館に勤めて

上飯谷 門脇スエ子

昨年四月より、縁あって大代公民館に勤めさせて頂くようになり、私自身これまで自分が住んでいる自治会以外ほとんど何も知らないで暮らしておりました。公民館へ勤め始めたものの、皆様の顔、名前、自治会名などを覚えるのが私にとって大変な事でした。

一年間の行事を一つ一つクリアして行く事で色々学ぶことばかり。人の心の温かさに触れて大いに感動、心を打たれた事や、いろいろな方に助けて頂き、町民の皆様にも少しもお役に立てたらと言う気持ちで接して頑張ってきました。今後ともよろしくお願い致します。

地域活性化、山村留学等、地域振興には市民参加が欠かせないと思えます。大代町民一人一人の考え、ご指導で住みよい町、心温かい大代の町づくりを館長、主事共に新たに向かつて節目として、飛躍の年となるよう動き始めておられます。未熟な私、これから色々教えて頂き、来られた方にせめて笑顔

だけは欠かさない様に、自分自身にいきかせております。

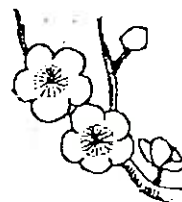
公民館は憩いの場であり、コミュニケーションの場です。沢山の方が来て下さる様に、又利用し活動して頂きますよう温かい気持ちで接し、明るい公民館へと削り上げていきたいと思えます。

健康

血管の病気には

良質の蛋白質を

社協大代支部長 松井 幸



高齢化、情報化、国際化、毎日の様にどこかで眼に付く社会現象の一つ、高齢化社会にひしひしと迫るこの言葉に対して、妙に関心が片寄るのも私の年齢が意識させる事かと思えます。

現代の様に医学や生活環境が向上し長寿と保つ事が出来るのは大変幸せな事でありますが、その反面、寝たきり老人になったり、痴呆症の如き不幸な病が増加しているのも現実です。

去る十一月五日、辻摩町に於て「今最も多い血管の病気を防ぐ為に」と題

して講演会が開かれました。

講師は島根医科大学助教授、堀江良一先生で、身近な血管の病気の幾つかを取り挙げられましたがその中で

一、脳溢血（痴呆症も含めて）

二、心筋梗塞、（心臓病）何れも血管の老化、コレステロールなど

三、腎臓病、（糖尿病、尿毒症）

四、高血圧について（塩分などに対する独自の持論、胃癌、肝臓癌外）などその予防法について細かに述べられました。

特筆したいのは、これら血管の病気が夫々に対して共通して言えるのは、「良質の蛋白質を充分に摂る事によって細胞を蘇生若返りさせる事が出来る」事を強調され、オーバーヘット（映写）によってラット（ねずみ）の実験結果をもとに詳しく発表された事でした。

皆さんの御承知の「良質の蛋白質」とは植物性のものを筆頭に魚肉類、野菜類にさえも高価な蛋白質があります。又日常の食事療法や、お酒を飲む上で欠かせないもの、或はコレステロールの変化など侵された細胞が復活されて行く実態に確かな感動を覚えました。

高齢化社会＝周囲の人達に出来る限りの負担をかけない心がけと共に、自分自身が積極的に健康な体力を保つ努力をして、明るい環境づくりに貢献して行く事が、当面した課題ではないでしょうか。

自治会紹介

四日市地名考察

四日市（西隠寺）荒本恵宗



四日市自治会の四日市という地名を考えてみると、全国的に最も大きい地は、三重県四日市市で、人口約二十五万人、伊勢湾にのぞむ貿易港をもつ商業都市である。次に大分県宇佐市四日市で、東西両本願寺の九州別院のある地である。まだ小さいものを探せば沢山ある。

私達四日市自治会の人口は四十八人戸数二十戸という小さな自治会である。昨年、特望久しい四日市集会所が完成し、この集会所を中心にあらゆる自治会の活動が展開している。

このように大きな四日市、小さな四日市の違いはあるけど、封建時代前期

の経済、社会では主要産業は農業であったが、各地の特産物が発達するようになり、商工業がいちじるしく発達してきた。多くの人が集まって品物を交換取引する市は古代にもあったが、鎌倉時代になって商業が発達してくると一定の場所に定期的に市が開かれ、そのため設備をもつ市場が発達してきた。毎月四日、十四日、二十四日と月に三回の三斎市、室町時代には四の日と八の日などという六斎市もあらわれた。現在各地に残る地名もそうした名残である。上市、下市というのは、市場の場所から起こったものと思われる。

唱歌の旅

雪



一、雪やこんこん 霞やこんこ

降っては降っては ずんずん積もる

山も野原も綿帽子かぶり、

枯れ木残らず花が咲く

二、雪やこんこ 霞やこんこ

降っても降っても まだ降りやまぬ

犬は喜び庭駆けまわり、

猫は火燵で丸くなる。

書、写真作品御寄贈お礼

大代公民館

大代公民館は、これまで館内が文化的香りのする心む環境へと努めてきました。大代町出身者で絵画・写真・書等すぐれた芸術作品を提供して頂き館内に飾ってまいりました。

この度、大代出身者市原安臣氏より三瓶山の風景写真。夕暮れの町並みの写真二点と、九十四才にお成りになられた渡利春好さんの「和生百福」の書を公民館へご寄贈下さいました。

現在、ご二人は大田市のピラ大田で健康的に生活されております。

大代公民館として、芸術を追求する姿勢を讃え館内に飾らせて頂きました。皆様方のご鑑賞を乞う次第です。大代公民館として大代出身者の芸術作品を今後更に飾らして頂きたいと考えております。何卒皆様方の御協力をお願いし、益々文化の香る公民館へと削り上げたいと思います。

ご支援をお願い申し上げます。



社会を明るくする運動

この度、財団法人島根保護観察協会 会長澄田信義（知事）氏より大代町社会福祉協議会に感謝状が贈られました。これは、厚生保護事業運営に寄与した事に対し賜ったわけであります。

今後、大代町福祉協議会・公民館は住民参加に根差した犯罪予防活動を展開し、広報活動に努めて参りたいと思えます。

尚、大代町の保護司は橋本昭二氏の後任として、竹本諒氏に決定しました事を添えてお知らせ致します。



2月の行事予定

◆11日（木）建国記念の日

親子読書講演会 午前9時半から
大代公民館集会室にて
参加をお待ちしております。

◆14日（日）福祉弁当

◆17日（水）農業講座

◆25日（木）確定申告相談

午前9時～午後4時まで公民館で
関係書類を揃えお出かけ下さい。

◆3月7日（日）婦人会総会

講師 大田保健所々長
演題 「五十代からに
多い結核」について

—。おしらせ—。

◎都市とふる里交流

東京石見高山会の米原光義氏より、大代小学校児童用としての習字道具七点と大代中学校生徒用作業服七着をご寄贈下さいました。厚くお礼申し上げます。

◎公民館より

◆下市の佐藤哲朗氏さんのお世話で水上産業株式会社よりお皿百三十枚御寄贈頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆大代町書き初め展が好評のうち、終了致しました。出品された作品は小中学校を除いて婦人会二十一点、一般八点でした。有難うございました。来年も書き初め展に応募して下さい。
◎ 社協大代支部より

大田市 森脇保忠 様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。